



学校だより 第4号
令和7年 7月
富山市立豊田小学校

子供と大人の関わりについて

校 長 吉野 哲

子供の成長に大きく影響することのひとつとして、大人との関わりがあると思います。子供は大人との関わりの中で多くのことを学びます。人間関係の構築に関することや、世の中のルールに関することなど多岐に渡ります。

そのように考えると学校や家庭で、大人が子供とどのように接するかによって、その子供の成長を左右することがあるのではないのでしょうか。家庭を例にとって考えてみます。例えば、親として学校での様子を知りたいという気持ちから、毎日、帰宅した子供に対し、

①「今日、学校で嫌なことなかった？」

②「今日、学校で楽しいことなかった？」

と聞き続けたとします。①の場合、子供は『学校で嫌なことはなかったかな』と考えるようになります。嫌なことを探し、親に報告することが日課になります。一方、②の場合、楽しいことを探すように成長していくかもしれません。学校の帰り道、今日はどんな楽しいことがあったかなと考える子供に育っていくのです。学校生活を楽しいと捉えることが日常になるため、自己肯定感が高まり、将来、悪いことに囚われず、よいことに目を向けて明るく前向きに生活できる人間に成長していく可能性が高まるのではないのでしょうか。

また、一般的に子供は「よい子でいたい」と願っています。特に一番身近な親や家族の中でよい子を目指します。しかし、時にはよくない行動をしてしまい、親として叱らなければならない場面が出てきます。そんな時に、一方的に「やめなさい」と怒鳴られると、よくない行動に対する反省より、怒鳴られた恐怖心の方が勝ってしまいます。すると『叱られなかったらよい』『見つからなかったらよい』という方向に進んでしまう可能性があります。親が我が子を本気で叱ることは当然あります。（私自身も経験があります。増水した用水路で遊んでいる小学生の息子を厳しく叱りました。）その際、なぜ叱ったのかその理由を分かりやすく伝えることが大切です。そして、叱る方も断腸の思いで叱っていることを伝える必要があります。つまり、叱るという行為は『心からあなたのことを大切に思っているからだよ』という子供への愛情を合わせて伝えることが重要なのです。

今回、家庭での例を中心に考えてきました。子供にとって身近な大人との関わりは、その子の将来を大きく変えていく影響力があります。子供は周りの大人から、日々、様々なことを学びながら成長していきます。

先日配信しました「子どもたちの健やかな成長のための環境づくりに関するご協力のお願い」もご一読いただき、豊田っ子の健やかな成長を共に見守ることができれば幸いです。